

このマークを見かけたら、
温かく見守ってください。

介護マーク



認知症の方の介護は、他の人から見ると介護をしていることが
分かりにくいいため、誤解や偏見を持たれることがあります。
介護する方が、介護中であることを周囲に理解していただくために、
「介護マーク」を作成しました。



介護マークとは

この「介護マーク」は平成23年4月に静岡県が作成しました。

認知症の方の介護は、他の人から見ると介護していることがわかりにくいいため、介護者は周囲から思わぬ偏見や誤解を受けてしまうことがあります。介護中であることを周囲に理解してもらう道具として、ぜひ、「介護マーク」をご活用ください。

例えば…こんなときにご活用ください

- ・ サービスエリアや駅などのトイレで、介護者が付き添う際、周囲から冷ややかな目で見られてしまう。
- ・ 男性介護者が店頭で女性用の下着を購入する際、不審な目で見られてしまう。
- ・ 認知症高齢者を病院に連れて行った際、2人で診察室に入っていくと、見た目は健康そうなのになぜ2人で診察室に入るのかと、呼びとめられる。
- ・ 駅で切符を買う時や、スーパーで買った物を袋詰めしている時など、認知症高齢者は目を離したわずかの間にどこかに行ってしまうことがある。通りがかりの人に少しの間見守ってほしいと頼むのが大変。

介護マークを身につける方

高齢者や障害者等に関わらず、介護されている本人がつけるものではなく、介護者（家族等）がつけるものです。

介護者の方々が、介護中に起こりうる思わぬ偏見や誤解を避け、周囲の人に介護中であることを理解を得るために身につけるものです。決して悪用しないでください。

お問合せ：南部町地域包括支援センター（福祉保健課内） TEL 0556-64-4836